

第3回ロシア映画祭 特別企画 **КРУГЛЫЙ СТОЛ**

シンポジウム 「映画を観れば『今のロシア』が見える」

第3回ロシア映画祭で来日するロシア側代表を迎えて、特別企画として12月15日に、東京大学本郷キャンパスにてシンポジウムを開催します。「映画を観れば『今のロシア』が見える」をテーマに、日口の映画専門家がロシア映画について、語り合います。

司会進行は東京大学教授の沼野充義先生。ロシア映画史の流れを踏まえて、ロシア映画研究の第一人者である井上徹氏にソ連時代から現代に続くロシア映画の特徴と魅力を話していただき、ロシア側からは、本映画祭のディレクター、セルゲイ・ノヴォジーロフ氏らに現代ロシア映画産業の現状とロシアで人気のジャンルやテーマなどを紹介していただきます。矢田部氏からは東京国際映画祭で世界中の映画を観ているからこそ言える映画文化の多様性や国際映画祭が果たす役割と意味を、また、守屋愛さんからは日本語字幕翻訳作業にまつわるエピソードや観客に映画の意図が伝わる表現方法の重要性などを話していただきます。俳優兼監督として活躍中のサリニコフ氏からもロシアの若い世代の映画観を伺います。

いずれも興味深い話が聞くことができると思います。皆様、お誘いあわせの上ご参加ください。

第3回ロシア映画祭 特別企画・シンポジウム

テーマ：「映画を観れば『今のロシア』が見える」

日時：2019年12月15日（日）16:00～18:30

*ロシア映画祭プログラム13:00-15:45「目を閉じれば見える」《Смотри как я》の上映・サリニコフ監督とのQ&Aの後、シンポジウムを行います（16:00開場、16:20シンポ開始）。

会場：東京大学・国際学術総合研究棟・文学部3番大教室

地下鉄丸ノ内線「本郷3丁目」駅徒歩8分（本郷キャンパス「赤門」すぐ）

司会：沼野 充義（東京大学文学部教授・現代文芸論研究室）

登壇者：井上 徹（エイゼンシュテイン・シネクラブ代表）

矢田部 吉彦（東京国際映画祭 プログラミング・ディレクター）

守屋 愛（ロシア映画祭日本語字幕翻訳者/お茶の水女子大学非常勤講師）

ノヴォジーロフ・セルゲイ（モスクワ God Kino 社代表/ロシア映画祭ディレクター）

ジューコワ・アレクサンドラ（ロシア映画祭プログラムディレクター）

サリニコフ・エゴール（映画「目を閉じれば見える」監督）

参加費：無料（要予約） *日本語・ロシア語逐次通訳つき

*15日13:00からの映画祭参加者の方は自動的にシンポジウムにもご参加いただけますが、人数把握のためできるだけ参加登録にご協力ください。

WEB 予約はこちらから ⇒

主催；東京大学文学部スラヴ語スラヴ文学研究室・現代文芸論研究室

ロシア映画祭実行委員会 TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp



КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/КИНО/



《ロシア映画祭 12月15日13:00～上映作品》

『目を閉じれば見える』《Смотри как я》

エゴール・サリニコフ監督 98分 (16+) 2019年

人気俳優エゴール・サリニコフが監督した長編デビュー作。

二人の少年少女のファンタジーロード・ムービー

реж. Егор Сальников, 98мин., 16+, 2019г., Россия